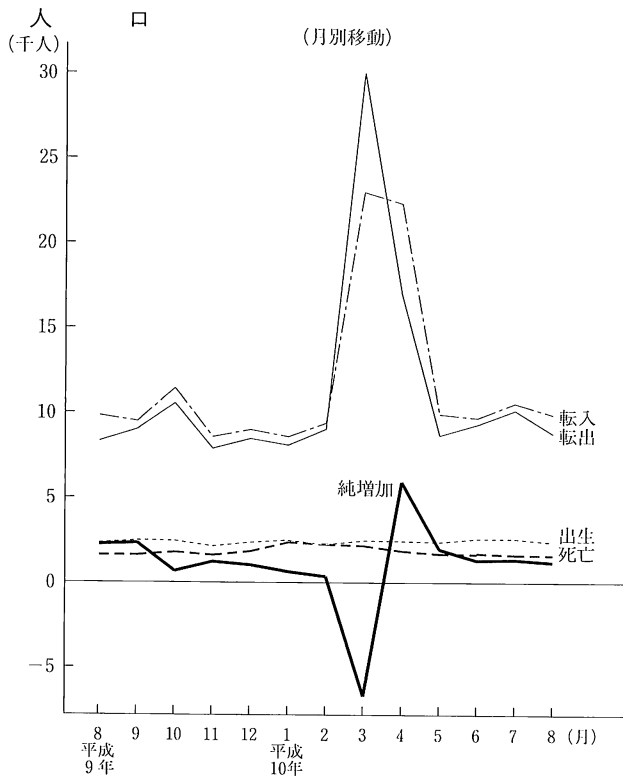
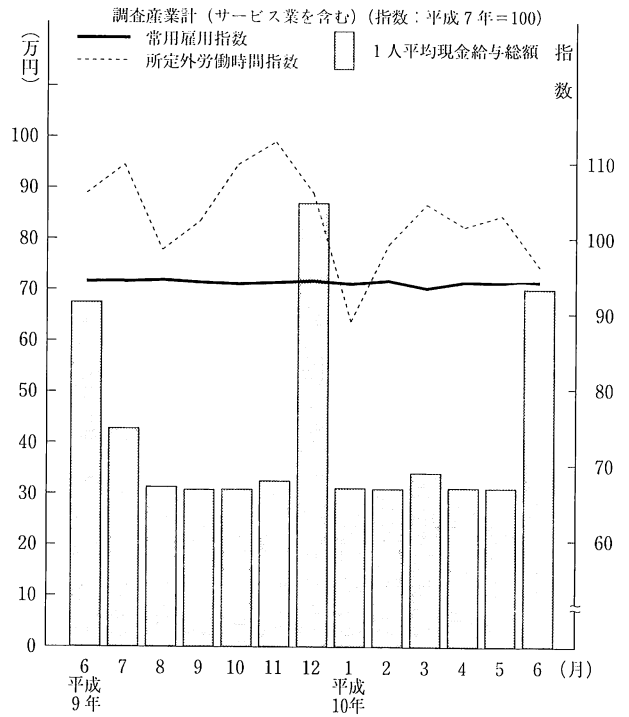


●今月の主な動き

# 今月の主な動き



賃金・労働時間・雇用



■人口 (10年9月1日)

8月の概況

本県の人口は、8月中に1,907人増加し、9月1日現在で2,992,121人(男1,493,917人、女1,498,204人)となった。

内訳は、自然動態で776人(出生2,394人、死亡1,618人)増加し、社会動態で1,131人(転入9,903人、転出8,772人)増加した。前年同月と比べると11,900人(0.4%)の増加である。

市町村別では、増加が16市37町村、減少が4市25町村、増減なしが3町村である。

世帯数についても8月中に1,107世帯増加し971,146世帯となった。

■賃金・労働時間・雇用 (10年6月)

1. 平均賃金の推移

6月の現金給与総額は、調査産業計で708,869円、対前年同月比5.0%増、このうち、きまって支給する給与は310,381円、対前年同月比1.2%増であった。特別に支払われた給与は、398,488円であった。

2. 労働時間

6月の総実労働時間は、調査産業計で166.4時間、対前年同月比0.1%減であった。このうち、所定内労働時間は153.6時間、対前年同月比0.7%増、所定外労働時間は12.8時間、対前年同月比9.2%減であった。

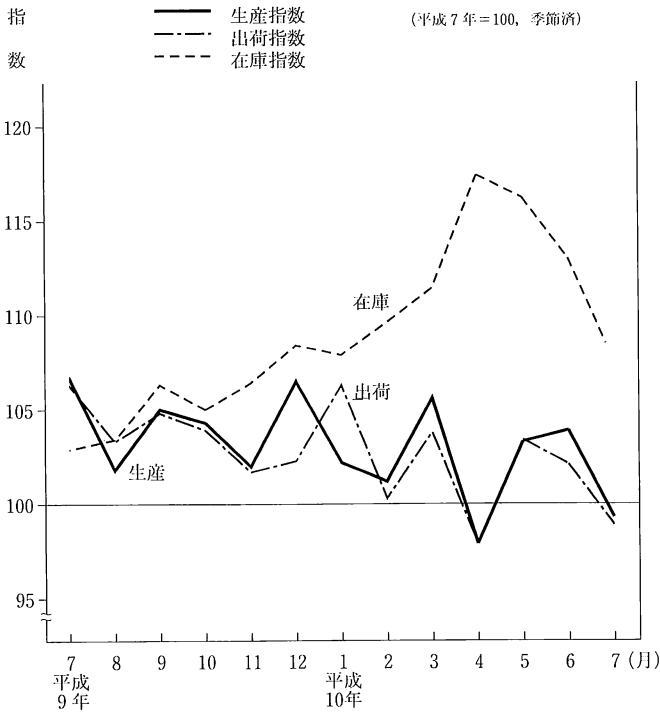
3. 雇用の動き

6月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると、対前年同月比0.2%減であった。

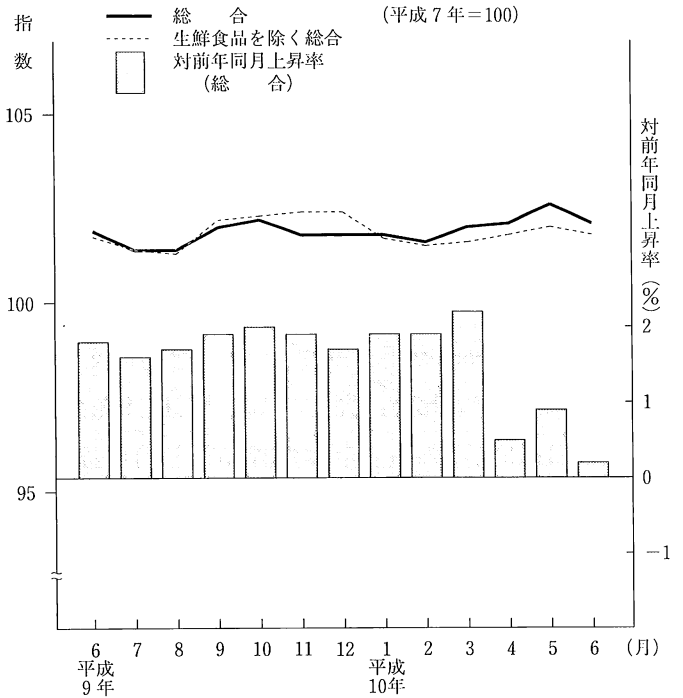
※この地方調査の結果は事業所規模30人以上です。

なお、事業所規模5人以上の結果についての問い合わせにも応じます。

鉱工業指数（生産・出荷・在庫）



消費者物価指数



■ 鉱工業指数＜生産・出荷・在庫＞（10年7月）

本県における平成10年7月の“鉱工業指数”（平成7年＝100）は、季節調整済指数で、生産が99.3、出荷が98.9、在庫が108.5で、前月比は、生産が4.4%の低下、出荷が3.2%の低下、在庫が4.0%の低下であった。前年同月比（原指数）は、生産が7.0%の低下、出荷が7.0%の低下、在庫が5.4%の上昇であった。

業種別に前月比をみると、生産では、精密機械工業、化学工業、石油・石炭製品工業等が上昇し、繊維工業、一般機械工業、金属製品工業等が低下した。出荷では、精密機械工業、化学工業、石油・石炭製品工業等が上昇し、繊維工業、金属製品工業、電気機械工業等が低下した。在庫では、パルプ・紙・紙加工品工業、鉱業、金属製品工業等が上昇し、精密機械工業、輸送機械工業、電気機械工業等が低下した。財別にみると、生産では、鉱工業用生産財、耐久消費財等が上昇し、資本財、建設財等が低下した。出荷では、耐久消費財、非耐久消費財等が上昇し、資本財、建設財等が低下した。在庫では、その他用生産財、非耐久消費財が上昇し、耐久消費財、建設財等が低下した。

■ 消費者物価指数（10年6月）

平成10年6月の茨城県消費者物価指数（県平均）は、総合で102.1（平成7年＝100）となり、対前月比0.5%の下落、対前年同月比0.2%の上昇となった。

今月の上がった主な項目……生鮮野菜8.0%、シャツ・セーター類5.9%、保健医療サービス22.9%

今月の下がった主な項目……電気代4.4%、室内装備品2.8%、自動車等関係費3.0%

生鮮食品を除く総合は101.8となり、対前月比0.2%の下落、対前年同月比0.1%の上昇であった。

■ 費目別指数

（平成7年＝100）

区分	指数	上昇率(%)		区分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総合	102.1	△0.5	0.2	保健医療	112.4	0.0	10.3
食料	103.1	△0.7	0.4	交通通信	97.6	△0.6	△1.7
住居	102.1	△0.9	△0.2	教育	107.4	0.0	1.0
光熱・水道	102.5	0.0	△1.8	教養娯楽	98.7	△0.4	0.5
家具・家事用品	96.3	△0.1	△1.1	諸雑費	101.2	0.1	0.3
被服及び履物	107.9	0.2	1.5	生鮮食品を除く総合	101.8	△0.2	0.1